

大阪商業大学アミューズメント産業研究所  
第8回公開講座

# 囲碁の 歴史と人工 知能

本講座では、まず古代・中世を中心とした日本の囲碁史を解説し、その普及の過程と社会的位置付けを振り返ります。一方で、現在囲碁界においては、世界的棋士とコンピュータとの対局が話題を呼んでいます。この対戦では戦術的予想をくつがえして、人工知能が大きく勝ち誇る衝撃的な結果となりました。歴史と人工知能の両面から世界的ボードゲーム“囲碁”の楽しみ方行く末を考えます。



松村 政樹



古作 登



伊藤 毅志

## 当日のプログラム

- 13:00 受付開始  
13:30 開会の挨拶  
松村 政樹 (本学総合経営学部 教授・アミューズメント産業研究所 副所長)  
13:35 基調講演①「古代・中世の日本囲碁」  
古作 登 (本学アミューズメント産業研究所 主任研究員)  
14:15 基調講演②「人間を超えるコンピュータ囲碁」  
伊藤 毅志 (電気通信大学大学院 情報理工学研究所 助教)  
15:00 (休憩 15分)  
15:15 トークセッション  
松村 政樹 (モデレーター)、伊藤 毅志、古作 登  
16:00 終了

平成28年 7月2日(土) 13:30~16:00 (受付開始13:00)

場所 大阪商業大学 ユニバーシティホール蒼天

定員 300名 (申込先着順、定員になり次第受付終了)

受講料 無料 対象 学生、一般市民 後援 東大阪市、東大阪商工会議所